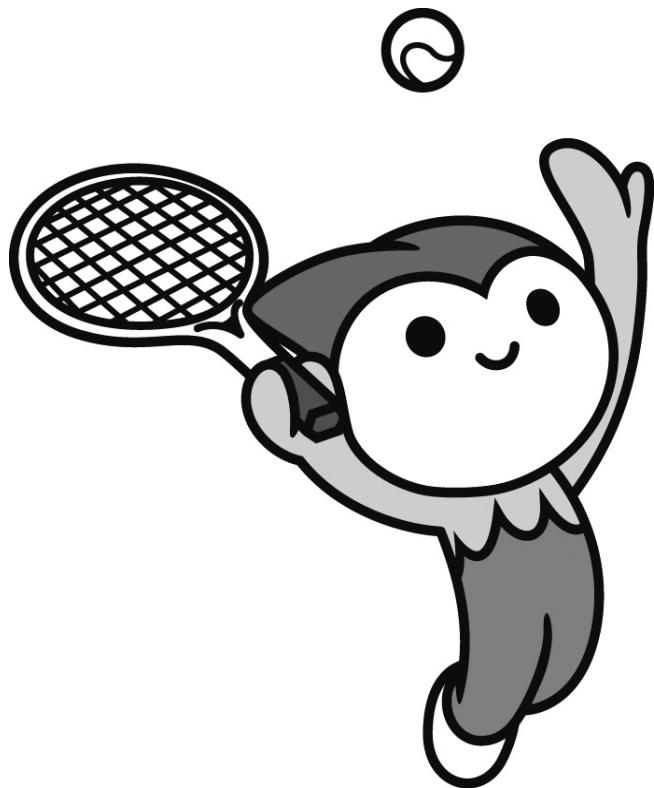


2019年度
全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会
山口県予選



主 催 山 口 県 テ ニ ス 協 会
主 管 山 口 県 ジ ュ ニ ア 委 員 会
後 援 (公 財) 周 南 市 体 育 協 会
会 期 令 和 元 年 7 月 7 日 (日)
会 場 キ リ ン ビ バ レ ッ ジ 周 南 庭 球 場

大会日程

日 時	種 目	試合会場	試合開始
7月7日(日)	U18男子シングルス	キリンビバレッジ 周南庭球場	9:00
	U18女子シングルス		

★ 受付は8:30までに行ってください。(補欠選手も含む) ★

大会役員

ディレクター	川武 郷
レフェリー	村川 洋
進行	山口県ジュニア委員

諸注意・連絡事項

1. 試合方法	本戦	8ゲームズプロセット
	フィードインコンソレーション	6ゲーム先取(ノーアド)

※ 5位をフィードインコンソレーションできめます。

※ 天候、その他の事情により、試合方法を変更することがあります。

2. 試合前の練習はサービス4本とします。

3. 遅刻に対するペナルティーなど、その他のルールはJTAルールを採用します。
4. 試合はセルフジャッジです。サーバーはポイントやゲームのコールを相手に聞こえるように大きな声でして下さい。
5. セットブレークルールを採用します。1ゲーム終了後の休憩はありません。
6. 選手は進行板に注意して、前の試合が終わったら直ちにコートに入って試合をして下さい。
7. 試合終了後、勝者は速やかにボールと進行板に貼ってある自分のカードを本部に届けて下さい。
8. 開会式は行いません。受付は各選手が届けてください。
9. 雨天などにより試合の有無が不明な場合でも、定刻には会場に集合して下さい。
10. コートの外からアドバイスやジャッジに関する抗議等を一切禁止します。
選手はジュニアらしい態度で試合に臨むこと。
11. 体調の悪い場合は無理して試合をせずに勇気を持って棄権して下さい。
12. 練習コートは各選手交代で練習して下さい。(8:15~8:45)
各コートのシングルスティック、スコアボードを倉庫から出して練習を始めて下さい。

観客のみなさんへ…お願い

- 1) ラインジャッジ等の判定に関して、口出しすることをお控え下さい。
- 2) 好プレーに対しては、相手選手を問わず拍手をお願いします。
- 3) 逆に、いずれのプレイヤーのエラーに対する拍手はご遠慮下さい。

中国大会 令和元年9月7~8日 山口県(宇部)
県枠 男女各2名 + α

全国大会 令和元年12月12~15日 兵庫県(ビーンズドーム)

全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会 山口県予選

男子シングルス

キリンビバレッジ周南庭球場

2019.7/7

1	山口テニスアカデミー	柴田 昂樹 [1]	
2	西京高校	川田 真也	
3	西京高校	垣内 勇星	
4	レノファ山口	上田 遼介	
5	西京高校	寺西 拓巳 [3]	
6	カトウテニスクラブ	泉 界瑛	
7	山口高校	柴丸 直人	
8	山口テニスアカデミー	近藤 曜司	
9	カトウテニスクラブ	由良 隆之佑	
10	岩国ジュニアTC	岡田 唯楓	
11	西京高校	河内 優和	
12	山口テニスアカデミー	桑原 慶太 [4]	
13	山口テニスアカデミー	岩本 風音	
14	西京高校	川田 将也	
15	カトウテニスクラブ	谷口 桜介	
16	山口高校	木本 達也 [2]	3位決定戦
補欠			
1	大和オレンジボールTC	平野 磨沙斗	

全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会 山口県予選
女子シングルス

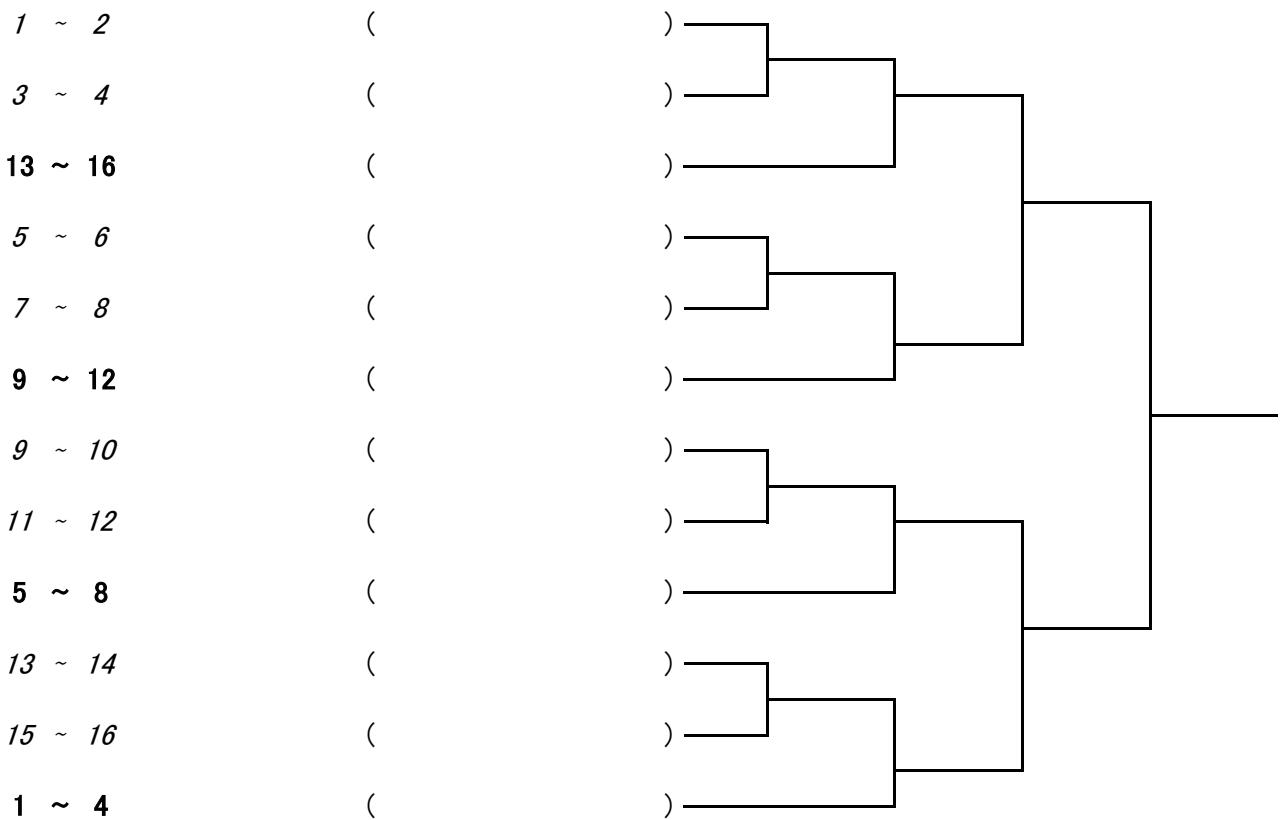
キリンビバレッジ周南庭球場

2019.7/7

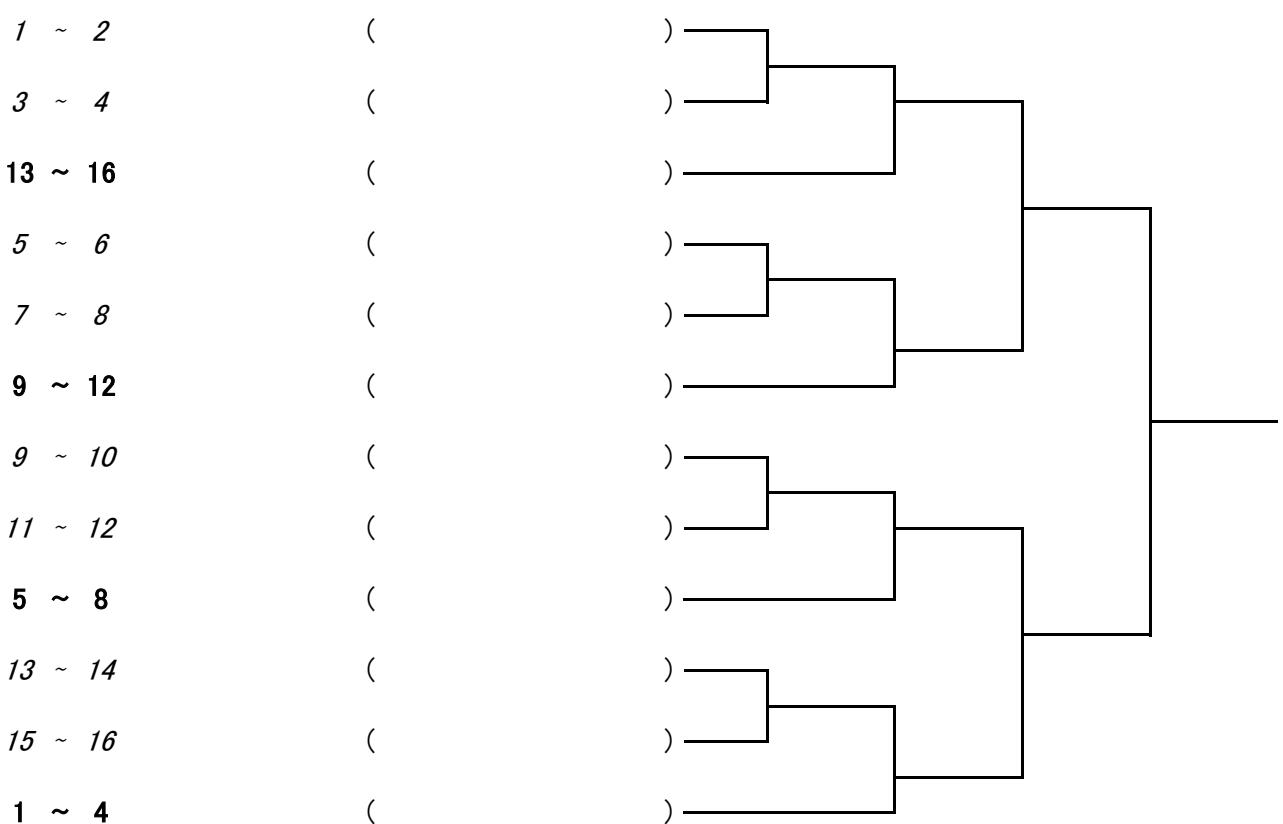
1	野田学園高校	近藤 佳怜 [1]	
2	山口サングリーンＴＣ	福永 恭子	
3	野田学園高校	大沼 愛弥	
4	山口テニスアカデミー	田中 倫奈	
5	野田学園高校	牛尾 真夕 [3]	
6	アルファＴＣ	神田 弥優	
7	山口高校	井上 愛梨	
8	野田学園高校	神山 優	
9	トウネテニスクラブ	藤永 萌花	
10	野田学園高校	五十嵐 凜	
11	アルファＴＣ	櫛崎 可奈子	
12	野田学園高校	大本 葉月 [4]	
13	野田学園高校	野口 和佳奈	
14	ミズノＴＳ岩国	豊田 ゆき乃	
15	レノファ山口	渡辺 心優	
16	野田学園高校	鈴木 渚左 [2]	3位決定戦

補欠		
1	野田学園高校	安藤 萌花
2	野田学園高校	藤本 夏菜

男子フィードインコンソレーション



女子フィードインコンソレーション



ジュニアテニス選手皆様へ
一般・ベテランテニス選手の皆様へ
指導者・保護者の皆様へ
大会主催者の皆様へ



公益財団法人日本テニス協会

テニス競技でのセルフジャッジ5原則の順守と推進のお願い



フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。



セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」(相手に有利に)!
- ② 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき!
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス!
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに!
- ⑤ コートの外の人は、セルフジャッジへの口出しはしない!



保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツmanshipに則ったフェアな試合がおこなわれるよう、お子様への温かいご支援よろしくお願いします。